

# 事例 22 川と山の学校

## DATA

場 所：岩手県 北上川  
 実 施 者：岩手工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (019) 624-3131]  
 参 加 者：盛岡市立山岸小学校  
 実 施 日：平成12年6月20日

関係する分野



## 背景

「川と山の学校」は、「総合的な学習」の支援講座として開校しています。北上川水系の洪水予報や環境調査・岩手山の火山対策など学校の要望に応じて積極的に支援していくもので子供達が郷土に誇りを持ち、地域づくりについて考えていくための土壌を形成するための取り組みです。

## 内容

北上川のはたらき・水質調査・川に生息する生き物について説明しました。北上川から水を採取したり、水生生物の観察をしました。授業の中でウォッチングシート・ウォッチングガイドを用いて、川について身近な話題を取り組みながら議論しました。



どんな生物がいるんだろう



自然ウォッチングノートに記録しよう

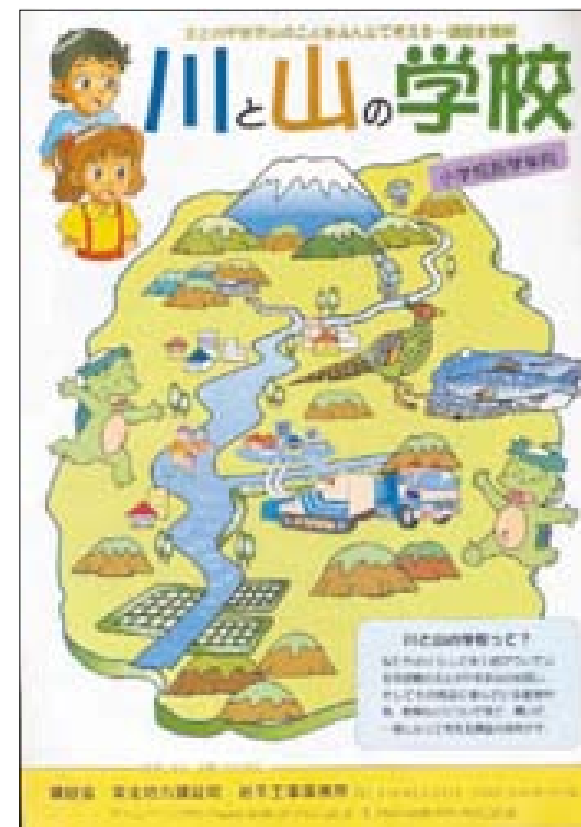
## ポイント

○自然を肌で感じながら体験学習することで自然への理解を深めました。また、水質調査をすることにより北上川の環

境やゴミ問題など維持管理の大切さを実感できました。

## 成果

川で遊ぶなど、自然にふれる機会が少なくなってきましたが、川での体験ではみんないきいきと夢中になって活動していました。そこから、「山に降った雨が大河の一滴になること」「水が命を育み大地を潤す」など、多くの発見がありました。



北上川や岩手山のことを考えよう



川と山のエキスパートたちが指導

## 次のステップに向けて

- 今後も小中学生を対象に「川と山の学校」を続けていきます。主に川について学習してもらいましたが、さらに川の歴史について調べ、川による他の町とのつながりについて学習し、川を含めた地域について学習することも考えられます。